

人権と福祉			科目コード	AH1049
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
1	S (講義)	1年以上	田中 治和	



■スクーリングで学んでほしいこと

人権や福祉という言葉（用語）は、比較的世の中で語られ、聞かされ、その大切さは、多くの人々が認めるところです。特に福祉系学部・学科では、人権は重要なキーワードであり、社会福祉実践の根源には、《人権》があり、人権の具体的な形態の一つに《福祉》があるといえましょう。

そこで、このスクーリングでは、《人権と福祉》という枠組みで、社会福祉学を学ぶ方々—社会福祉専門職を目指すか否かを一切問わず、社会福祉の本質を考究する入口・手掛かりとして、人権と福祉的諸課題（この講義では、要介護・“しょうがい”）とを関連しながら講義します。また併せて、それへの感想等について、受講者がゆっくりと考え、話し合える場となればと考えております。

■到達目標

- 1) 人権と福祉の基本的事項について説明できる。
- 2) 社会福祉実践と社会福祉学研究的の根源的課題の基本的枠組みが説明できる。
- 3) 社会福祉学をより深く学びたいと思う。

■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内容
1	人権に関する基本文書を読む。	文献『世界人権宣言（全文）』を講読します。
2	人権と福祉（社会福祉）との関係を考える。	文献『大阪人権博物館 総合展示図録』を講読します。
3	福祉（社会福祉）の学び方を整理します。	文献『人間と福祉』を講読します。 また、上記内容について少人数で話し合います。（オンデマンドの場合は、ワークを行います。）
4	反人権状況である悲惨な事件を通して、「人権と福祉」を具体的に学ぶ。	文献『津久井やまゆり園事件報告書』を講読します。
5	同上に関して、しょうがい当事者の方の見解と視点を学ぶ。	文献『仲間たちのいのちを奪った相模原の事件について』を講読します。 また、上記内容について少人数で話し合います。（オンデマンドの場合は、ワークを行います。）
6	人権と福祉の論拠となる文献を読む。（その1…理論的考察）	文献『「人間」の根拠はどこに求められるのか』を講読します。
7	人権と福祉の論拠となる文献を読む。（その2…思想的考察）	文献『人間をいきるといふこと—いのち考』を講読します。 また、上記内容について少人数で話し合います。（オンデマンドの場合は、ワークを行います。）

回数	テーマ	内容
8	人権と福祉の論拠となる“詩”から、《人間観・人生観》の手掛かりとなる仮説提示。	文献『騙されるな』を講読します。
9	スクーリング試験	本講義を振り返りながら、自分の考え（感想をも含め）を書いてください。

■講義の進め方

講義内容に書きましたように、配付された文献を講読しながら進めます。

また少人数（5～6人）のグループで話し合います（オンデマンドの場合は、400字程度のワークを行います）。

■スクーリング 評価基準

試験100%です。試験に、自筆ノート、配付資料等一切持ち込み可とします。

■スクーリング 評価基準（オンデマンド）

ワーク30%＋講義への参加状況およびスクーリング試験70%です。

■スクーリング時の教科書

教科書は使用しません。スクーリング時に資料を配布します。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

ご自分なりの人権と福祉についての考えをまとめておいてください。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25時間）

スクーリング時に、文献紹介をしますので、良かったら読んでみてください。

■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

とくに「他者への関心と理解」「社会への関心と理解」を身につけてください。

■参考図書

スクーリング時に、適宜紹介します。